

2014年（平成26年）9月17日

資料提供先：鳥取県政記者会
倉吉記者クラブ

だいえいとうはく
山陰道(はわい～大栄東伯間)の計画について
皆さまのご意見をお聞かせください

だいえいとうはく
山陰道(はわい～大栄東伯間)の計画策定にあたり、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見をお伺いし、道路計画に反映するためのアンケートを行います。

○アンケート期間：平成26年9月18日(木)～10月24日(金)

※作業の都合により配布日が前後する場合があります。

○アンケート内容：(別添1参照)

- ・対策案(ルート帯案)を検討する際に、配慮すべき(重要)と思う事項
- ・インターチェンジの設置を検討する際に配慮すべき事項

○アンケート対象・方法：

アンケート対象	実施方法
地域住民の方	〔・郵送にて直接配布により実施 【配布地域】 北栄町・倉吉市・湯梨浜町・琴浦町・三朝町〕
鳥取県内企業・事業所 当該区間を利用する県外企業	・郵送にて直接配布により実施
道路利用者の方など	・道の駅、観光地、官公庁等(※注)にてアンケートを実施 ・WEB アンケートを実施

(※注)道の駅、観光地、官公庁等のアンケート設置箇所は別添2参照

問い合わせ先： 国土交通省 倉吉河川国道事務所

副所長

やすの さとし
安野 聡

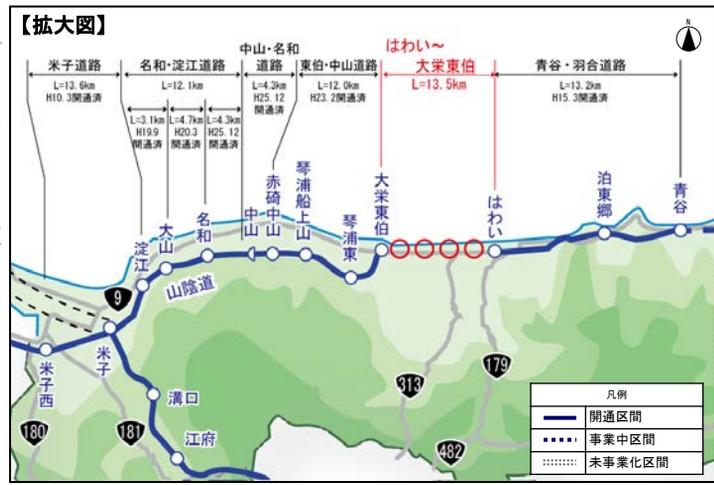
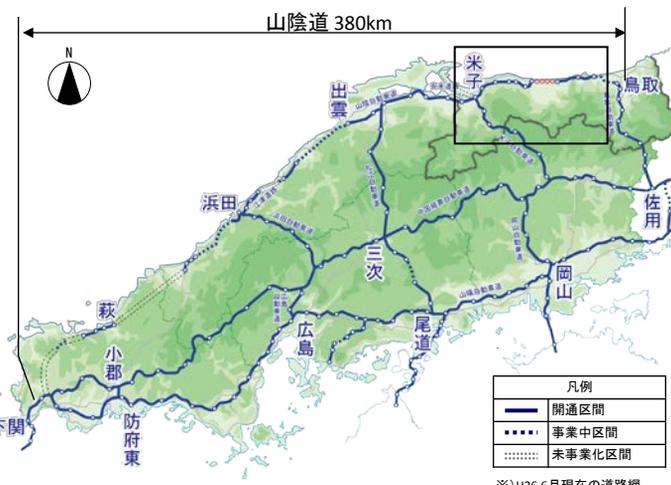
調査設計第二課長

おだ よしゆき
小田 嘉幸

TEL 0858-26-6221(代表)

URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/>

山陰道は、鳥取県鳥取市～山口県下関市までの延長約380kmの高規格幹線道路です。本調査は、山陰道(はわい～大栄東伯)の道路計画について、より皆さまの生活に役立つ道路とするため、周辺地域の皆さまにご意見を伺う第2回目のアンケートです。第1回アンケートでは、平成26年1月～2月にかけて「道路の課題」、「道路に求める機能・役割」や「道路整備の必要性」について、約11,900件のご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。今回の第2回アンケートでは、地域の課題を解消するためにふさわしい対策案となるよう、計画にあたって配慮すべき事項等についてお聞きします。前回に引き続き、本アンケート調査にご協力をいただきますようお願いいたします。



国道9号(はわい～大栄東伯)の現状

道路ネットワークと交通状況

- ▶ 当該区間は、高規格道路ネットワークにおいて鳥取県内で唯一、現在事業がなされていない区間です。
- ▶ 国道9号(はわい～大栄東伯)の交通量は、約16,200台/日(大型車約4,200台/日)です。

道路の構造

- ▶ 当該区間には、24箇所の無信号交差点があり、農耕車や自転車等の横断が存在しています。
- ▶ 無信号交差点で発生している事故の約4割が出会い頭による事故です。

交通事故の状況

- ▶ 当該区間の交通事故の致死率は、中国管内の直轄国道平均と比べ約9倍と高く、鳥取県平均と比べても約6倍と高いです。
- ▶ 広域に通過する大型車両の混入率が2割と高く、重大事故に繋がる危険性が高い区間です。
- ▶ そのため、死亡事故の約6割で大型車が関与しています。
- ▶ また、死傷事故の約6割が交差点で発生しています。

通行止めの状況

- ▶ 当該区間は、事故による通行止めが8年間(H17～H24)に16回発生。全面通行止めが約5時間に及ぶケースもありました。

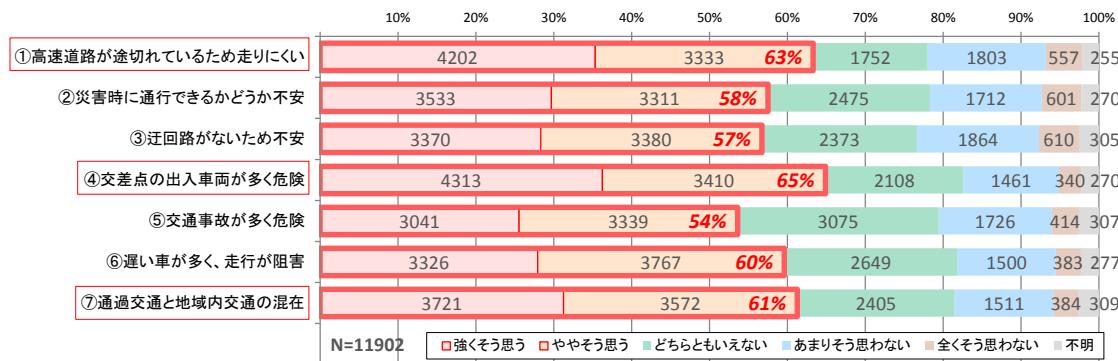


第1回アンケートにご協力いただきありがとうございました。
アンケートの結果(概要)を以下のとおり、お知らせします。

皆さまからいただいたご意見を踏まえた政策目標
に対する案を次のように立案しました。

●アンケートには、地域住民の方々や道路を利用されるの方々などから、11,902件の回答をいただきました。

1. 国道9号(はわい～大栄東伯)の課題について



●半数以上の方が全ての交通課題を感じており、特に「④交差点の出入車両が多く危険」「①高速道路が途切れているため走りにくい」「⑦通過交通と地域内交通の混在」という意見が多く挙げられています。

2. 地域の道路に求められる機能について



●約8割以上の方が全ての機能に重要性を感じており、特に「⑤救急搬送の円滑化」「①通過交通と地域内交通の分離」「②交通事故を少なくできること」という意見が多く挙げられています。

【意見聴取を踏まえた道路の機能・役割】

- ◇通過交通と地域内交通の分離、交通事故を少なくできること
- ◇救急搬送の円滑化
- ◇円滑な物資などの輸送
- ◇観光や地域間交流の促進
- ◇災害時の支援ルートの確保

【政策目標】

1. 安全性の向上
2. 救急医療への速達性、確実性の確保
3. 産業の活性化
4. 観光振興の促進
5. 通行止め時に機能するネットワークの確保

《ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント》

- 生活環境・自然環境の保全・調和
- 集落・市街地、主要施設等とのアクセス
- 広域ネットワークとしての機能
- 経済性の配慮

【案1】
現道改良＋自動車専用道路案

現国道9号(一般道)の改良と自動車専用道路(既存計画活用)とする案

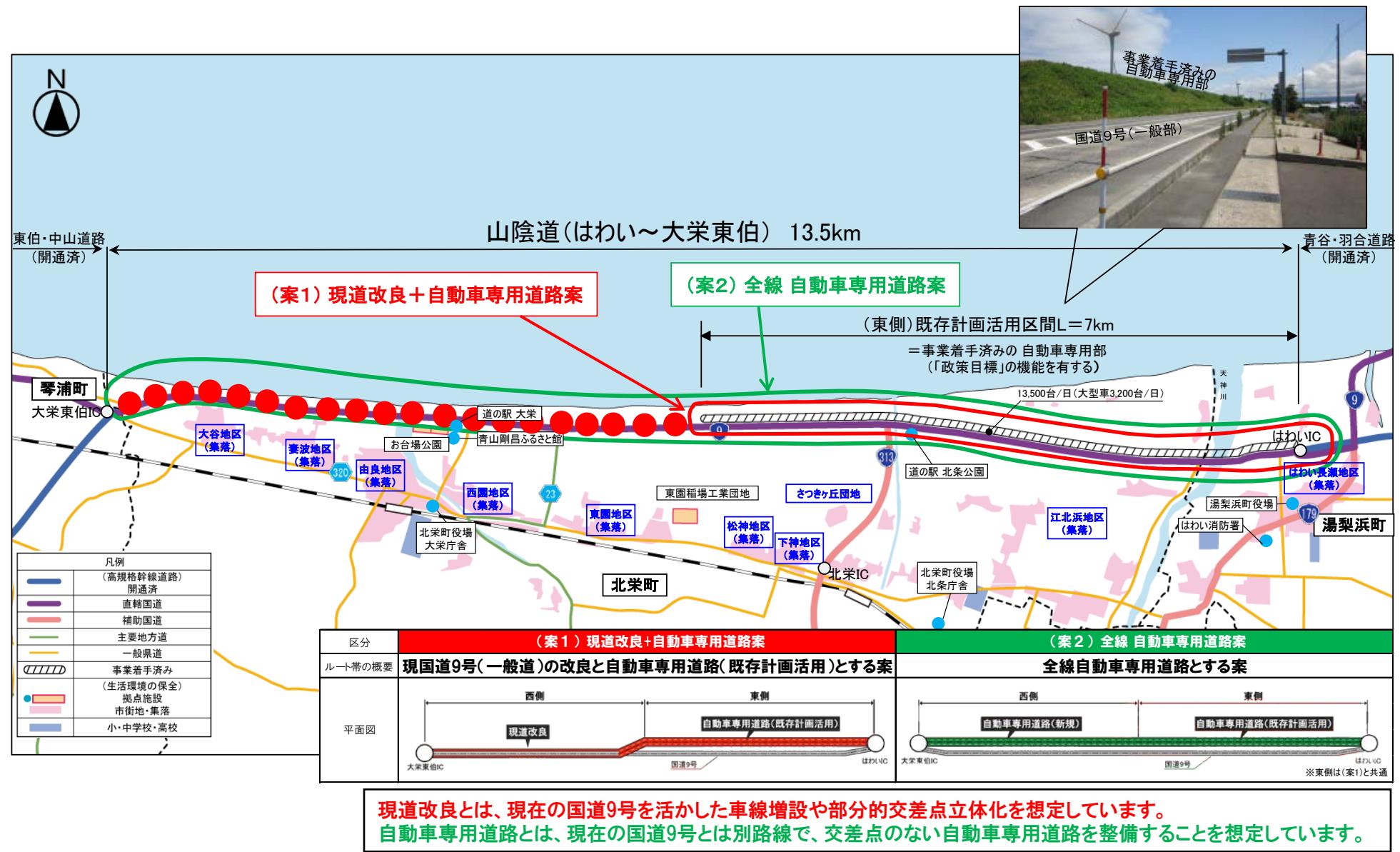
【案2】
全線自動車専用道路案

全線自動車専用道路とする案

地域の課題を解消する対策案を検討する上で、配慮すべき事項等について、アンケート調査をいたします。

地域の課題を解決するために、以下のような対策案 (2つの比較案)を検討しています。

各ルート帯案の比較



各ルート帯案の比較表

山陰道(はわい～大栄東伯) 複数案の比較・評価(ルート帯の検討)

評価の項目		(案1) 現道改良+自動車専用道路案	(案2) 全線 自動車専用道路案	
ルート帯の概要		現国道9号(一般道)の改良と自動車専用道路(既存計画活用)とする案 現国道9号改良区間は沿道からの出入りがある平面の一般道 既存計画区間は80km/hで走行できる自動車専用道路	全線自動車専用道路とする案 80km/hで走行できる自動車専用道路	
「政策目標」に対する評価	安全性の向上	事故が発生する可能性・危険性 長距離交通と地域内交通の混在具合	事故が発生する可能性がやや高い 混在する	
	救急医療機関への速達性、確実性の確保	琴浦町から鳥取県立厚生病院(倉吉市)までの所要時間	少し短縮する	
	産業の活性化	境港へのアクセス時間(鳥取市～境港まで)	少し短縮する	案1と大きな違いはない
		企業誘致への貢献(工業団地(東園稲場工業団地)から最寄りICまでの距離)	現況と同じ	ICの増設により、最寄りのICまでの距離短縮が可能
	観光振興の促進	産業・物流交通の走行性	交差点が残るため走行性は劣る	自動車専用道路による別線となるため走行性は良い
	通行止め時に機能するネットワークの確保	主要観光地への立寄りやすさ	現況と同じ	ICの増設により、最寄りのICまでの距離短縮が可能
「ルート帯選定にあたって考慮すべきポイント」に対する評価	生活環境・自然環境の保全・調和	通行止めの可能性や迂回の必要性	県道(生活街路)への迂回が必要となる	国道9号現道と自動車専用道路の相互に迂回利用が可能
		生活環境への影響(田畑の分断等)	現況と同じ	現況と同じ
	集落・市街地・主要施設等へのアクセス	日本海の眺望・自然環境への影響	影響は少ない	影響は案1よりわずかに多い
		集落や市街地・主要施設などへの連絡性	現況と同じ	ICの増設により、最寄りのICまでの距離短縮が可能
	広域ネットワークとしての機能	長距離交通と地域内交通の混在具合	混在する	分離される
		交差点等による停止・減速の可能性	一般道のため沿道からの出口(交差点)は残存し、停止・減速の可能性は残る	交差点がなくなるため、信号による停止はない
広域ネットワークとしての機能		広域交通ネットワークとしての定速性に劣る	広域交通ネットワークとしての定速性は確保される	
経済性への配慮	工事の期間	短い	案1より長い	
	工事による通行規制の多少	多い	少ない	
	建設に要す費用	約170~220億円	約300~350億円	
	維持管理の比較	舗装補修、交通安全(事故対策)、巡回、除雪等	案1と大きな違いはない	
	移転が必要となる家屋の数など	存在しない	わずかに存在する	

アンケートにお答えください。 (回答は返信用のはがきに記入してください。)

質問1 対策案(ルート帯案)を検討する際に、配慮すべき(重要)と思う事項

※別紙に示した「各ルート帯案の比較」及び「各ルート帯案の比較表」を参考にお答えください。

質問1-1 対策案の検討にあたって、どのようなことに配慮して計画するとよいと思いますか。あなたが重要と思う項目を、下記の①～⑦から**2つ選んでください**。

- ①長距離交通と地域内交通を分離し、安全性が向上することが重要
- ②交差点による停止や減速での事故が少ないことが重要
- ③救急医療機関への搬送時に、定速性や定時性が確保されていることが重要
- ④高速道路が連続し、定速性が確保されていることが重要
- ⑤広域的な緊急輸送道路が整備されていることが重要
- ⑥沿道の自然環境への影響が少ないことが重要
- ⑦工事の期間、建設に要する費用など経済性が良いことが重要

質問1-2 **質問1-1に示した7つの事項以外**で、あなたが配慮すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

質問2 インターチェンジの設置を検討する際に、配慮すべき事項

質問2-1 インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか？下記の①～④について、**5段階で評価**してください。

- ①市街地(市役所、病院等)への連絡性が良い
- ②主要な幹線道路との連絡性が良い
- ③道の駅などの休憩施設や災害時拠点施設への連絡性が良い
- ④観光施設など交流施設への連絡性が良い

質問2-2 **質問2-1に示した4つの事項以外**で、あなたが配慮すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

質問3 今後の道路整備等について

質問3 はわい～大栄東伯間の現在の国道の状況や、今後の道路整備等について、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

■回答方法

- ・回答は、右記の返信用のはがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。
- 締め切り
- ・平成26年10月24日までに投函願います。

質問1-1 対策案の検討にあたって、どのようなことに配慮して計画するとよいと思いますか。【該当する番号に○をつけてください(2つ選択)】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

質問1-2 質問1-1に示した7つの事項以外で、あなたが配慮すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。【自由回答】

質問2-1 インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか？下記の①～④について5段階で評価してください。
<5段階評価> 5. 強くそう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. 全くそう思わない

配慮すべき事項	あなたの評価の程度				
①市街地(市役所、病院等)への連絡性が良い	5	4	3	2	1
②主要な幹線道路との連絡性が良い	5	4	3	2	1
③道の駅などの休憩施設や災害時拠点施設への連絡性が良い	5	4	3	2	1
④観光施設など交流施設への連絡性が良い	5	4	3	2	1

質問2-2 質問2-1に示した4つの事項以外で、あなたが配慮すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。【自由回答】

質問3 はわい～大栄東伯間の現在の国道の状況や、今後の道路整備等について、ご意見があれば、ご自由にお書きください。【自由回答】

アンケート常設箇所名簿

	施 設 名
1	道の駅大山恵みの里
2	道の駅ポート赤碕
3	道の駅神話の里白うさぎ
4	道の駅燕趙園
5	道の駅大栄
6	道の駅北条公園
7	道の駅はわい
8	道の駅犬挾
9	道の駅楽市・楽座
10	物産館ことうら
11	青山剛昌ふるさと館
12	白壁土蔵群 赤瓦1号館
13	北栄町役場大栄庁舎 1Fロビー
14	北栄町役場北条庁舎 1Fロビー
15	湯梨浜町役場 1Fロビー
16	湯梨浜町役場東郷支所 1Fロビー
17	湯梨浜町役場泊支所 1Fロビー
18	琴浦町役場本庁舎 1F総務課
19	琴浦町役場分庁舎 1F総合窓口係
20	倉吉市役所本庁舎 2F市民課
21	倉吉市役所関金支所
22	三朝町役場 1F総務課
23	鳥取県庁 県民室
24	鳥取県東部庁舎 県民ホール
25	鳥取県中部総合事務所 地域県民室
26	鳥取県西部総合事務所 地域県民室
27	国土交通省倉吉河川国道事務所